

太田先生
長沼先生の

「評価」のお悩み相談室

Q.1 「主体的に学習に取り組む態度」はどのように見取ればいいのですか？



「主体的に学習に取り組む態度」とは、**粘り強く諦めないで取り組む姿勢**と、自ら学習を振り返って、次の学びに向けて目標を設定し、改善していく態度(**自己調整力**)のことで、特定の領域や単元だけでなく年間を通して評価します。普通の授業ではCAN-DOリスト(図1)を活用し、言語活動体験に基づいた振り返りを生徒自身にさせて自律的な学習態度を養わせたり、教師がフィードバックを示してあげたりするのもいいでしょう。日々の授業は単元末活動へ向けたプロセスなので、毎時間、記録を残す必要はありません。



生徒に**形成的評価**をきちんと返すことは、自己調整力につながります。教師が学習の達成度をフィードバックして生徒に「**気づき**」を与えることで、生徒自身も主体的になります。「気づき」を与えて自己調整力を養う工夫として、生徒に目ざしたいと思わせるような、モデルとして機能するパフォーマンス例を、通常の授業の中で示してみてください。B評価のモデル例を示してA評価までの学びの伸びをイメージさせたり、あえてC評価のモデルから適切でない箇所を気づかせて自発的に改善させたりするようなモデル共有のしかたをすると、生徒の「気づき」につながりますよ。

CAN-DO List

まだ
できない

助けがあれば
できる

ひとりで
できる

自信をもって
できる

英語の理解と表現の5つの技能目標について、それぞれどのくらいできるか、自己評価をしてみましょう。
自分の成長を確かめるためにも、1年間に3回程度は自己評価をしてみるとよいでしょう。

1年生の目標：自分のことや日常生活について、まとまりのある内容を伝え合うことができる。

理解	技能目標 (CAN-DO)	関連する主な教材	自己評価
	L-0 はっきりと話されれば、音声聞いて、書かれた文字と一致させることができる。	● Let's Be Friends! 6, 7 ● Sounds and Letters ● Unit 4-8 Story	まだ 助け ひと 自信
Listening 聞く	L-1 はっきりと話されれば、日常的话题について、具体的な情報を聞き取ることができる。	● Unit 1, 2, 3, 4, 8 ● Goal ● You Can Do It! 2 ● Daily Life 5 ● World Tour 1, 2	まだ 助け ひと 自信
	L-2 はっきりと話されれば、ストーリーや日常的话题について、おおまかな内容を捉えることができる。	● Unit 1-8 扉 Listen	まだ 助け ひと 自信

図1 『Here We Go!』1年
巻末CAN-DO List

Q.2 「読む・聞く」の中で、「思考・判断・表現」を具体的にどう評価すればいいのですか？



「読む・聞く」では、場面や状況を踏まえ、目的に応じて必要な情報や要点、概要を捉えているかを見取り、評価します。すべての情報を画一的に理解しようとするのではなく、めりはりをつけた理解が重要となります。『Here We Go!』ではUnit末のGoalページに、アウトプット活動につながる「読む・聞く」の活動が用意されているので、評価の材料として使えます。



例えば『Here We Go!』2年Unit 3のGoal「メールで予定を伝えよう」(図2)には、メールからその人物の予定や希望など、必要な情報を読み取る活動が用意されています。また、Daily Life Scene 7の「観光案内」(p.13図3)には、音声案内を聞いて概要を捉える活動や、観光案内から必要な情報を読み取って、要望に合う場所を見つける活動があります。ペーパーテストを作る際は、こういった教科書の活動を参考に、目的に応じた情報を読み取ったり、読んだ内容をもとに思考を促したりするような問題を意識的に設けると、「思考・判断・表現」の評価がしやすくなります。普段の授業の中でも、目的に応じた読み方の練習を取り入れていけるといいですね。

Goal メールで予定を伝えよう
Read Write

Reading p. 34 の Tina からのメールに Kota が書いた返事を読んで、下の質問に答えましょう。

From: Imura Kotaro
To: Christina Rios
Subject: My Flight

Hi, Tina.

Thanks for your e-mail. I will finish packing tonight.

I will borrow some sunglasses from Hajin. I want to buy a hat in New York.

So if you have time, please take me to a clothes shop.

My flight will arrive at the airport at 7:40 p.m.

I am going to bring Japanese fans as souvenirs for your grandparents.

I am really looking forward to seeing you. I can't wait!

See you soon!

Kota

[76 words]

(1) When will Kota finish packing?

(2) Where does he want to go if Tina has time?

(3) What time will his flight arrive at the airport?

New Words

- ☒ e-mail [i:meɪl]
- ☒ tonight [tə'naɪt]
- ☒ borrow [bɒraʊ]
- ☒ clothes [kləʊz]
- ☒ shop [ʃɒp]

図2
『Here We Go!』2年
Unit 3 Goal

Q.3 3観点を意識したペーパーテストの作り方がわかりません。特に、「知識・技能」と「思考・判断・表現」を見る問題をどう区別すればいいのでしょうか？



先生方は、当該学期で扱った文法事項を使っているかどうかをペーパーテストで見たいので、どうしても文法問題を優先しがちです。文法問題で見取れるのは、既習の言語材料を理解して正確に使っているかを見る「知識・技能」の部分です。

「思考・判断・表現」については、コミュニケーションの目的・場面・状況に合わせて適切に「知識・技能」を活用しているかを見取る問題を作らなければなりません。また「思考・判断・表現」の問題には、必ずしも当該学期で習った言語材料を使う必要はない、ということに留意しましょう。



テストはきちんと大問ごとに「知識・技能」「思考・判断・表現」を区別して作るようにしてください。「思考・判断・表現」だけでなく「技能」も、文脈から切り離れた知識としてではなく、状況や場面の中でどのように使うべきかを意識させ、より生きた力を測るようにします。学期末では、各単元で学んだことを統合した問題を出せると望ましいでしょう。

詳しくは、国立教育政策研究所のサイトで公開されている「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(中学校編 外国語)」事例1(p.47)を参考にしてみてください。

Daily Life Scene 7
観光案内

あなたはボランティアとして観光案内所にいます。海外からの観光客が必要としている情報をいっしょに探すには、どのような点に注意して、案内をお願いする人だよりするといでしょうか。

(1) Hokkaido

(2) Fukui

1. 山梨・長野・岐阜・愛知から旅行先を選びたい観光客から、次の3つの要望がありました。右の各県の案内を読み、それぞれの要望に合う情報を探してください。

(1) I'd like to see a Japanese castle. (~~~~)

(2) I want to relax at a hot spring. (~~~~)

(3) I like Japanese noodles. (~~~~)

2. 各県の案内情報によると、上の(1)～(3)の要望全てを満たすのはどこでしょうか。()

Goal
Listening
Reading

観光案内所から、おまかせ情報をお知らせいたします。

WELCOME to JAPAN

Yamanashi

Yamanashi is one of the best places if you want to see beautiful views of Mt. Fuji. It's also famous for sweet fruits, such as grapes and peaches. You should also try hot, local noodles with various kinds of vegetables. Please come and enjoy beautiful views and delicious food!

Gifu

Gifu is one of the best places if you want to see traditional Japanese culture. For example, you can see some old Gassho-zukuri houses in Shirakawa-go village. You can relax in Gero-onsen. It's one of the best three hot springs in Japan. Enjoy your holiday in Gifu!

Nagano

There are a lot of mountains, rivers, and hot springs in Nagano. You can enjoy camping, skiing, and relaxing in nature. Matsumoto, the second-biggest city in the prefecture, has the famous Matsumoto Castle. It's a national treasure. Nagano is also famous for soba Japanese noodles. Please try them.

Aichi

Aichi is the home of three historical heroes of Japan: Oda Nobunaga, Toyotomi Hideyoshi, and Tokugawa Iyeyasu. There are two famous castles in Aichi. One is Nagoya Castle. The other is Inuyama Castle. Aichi has a lot of delicious food. Misokomi-udon and Kishimen are two of the famous noodle dishes of the prefecture. Why don't you try them?

New Words

- ☒ hot spring [hɒt sprɪŋ]
- ☒ fruit [fru:t]
- ☒ grape [ɡreɪp]
- ☒ peach [pi:tʃ]
- ☒ local [ləʊəl]
- ☒ vegetable [ˌvɛdʒəbəl]
- ☒ culture [ˈkʌltʃə]
- ☒ village [ˈvɪlɪdʒ]
- ☒ prefecture [ˌprefektʃə]
- ☒ national [ˌnæʃənəl]
- ☒ treasure [ˈtreʒə]
- ☒ historical [ˌhɪstərɪkəl]
- ☒ hero [ˈhɪərəʊ]

図3
『Here We Go!』2年
Daily Life Scene 7

Q.4 やり取りにおける パフォーマンス評価は どうすればいいのでしょうか？



ALTとの一対一のインタビューで、「思考・判断・表現」を中心に3観点を見取ることができます。ここでは、例えば「ALTと親しくなって、お互いのことをよく知ろう」というような**インタビューの目的**を設定して、パフォーマンス評価を行うことが大切です。「知識・技能」では、**使われている英語の「正確さ」**を見取ります。「正確さ」については、a/theや三単現のsのような細かいミスではなく、誤解が生じるような大きな誤りがないかを見るようにしましょう。「思考・判断・表現」では、ALTにfollow-up questionをしたり、自分のことを詳しく述べたりしているかなど、コミュニケーションの**目的や場面に応じて「適切に」表現しているか**を見ます。「主体的に学習に取り組む態度」は、ALTから情報を得たり共通点を見つけたりするなど、**目的達成のために諦めずにコミュニケーションを図ろうとしているか**で判断します。



ALTとのインタビューの場合は、準備した質問への回答にならないようにALTから追加質問をするなど、インタラクションを促せるようにするといいですね。また、パフォーマンスタスクごとに**モデル例やループリック(図4)**をきちんと立てておくことも重要です。特に「思考・判断・表現」は、ABC評価の区別を理解していないと、単なる主観的評価になってしまいがちです。ABCの各評価の具体的なパフォーマンスの違いをイメージできるモデル例やループリックがあると、評価をしやすくなります。採点に関しては、コミュニケーションに影響を与えるような大きなミスがないかどうかを見るべきで、単なるミスの数で「正確さ」を評価したり、やり取りの回数の多さで判断したりしないようにしましょう。

評価の基準

	知識・技能	思考・判断・表現（態度）
A	正しい表現と発音で、質問に答えたり質問したりすることができる。	自分の答えに情報を加えたり、相手の答えに相づちを打ったり関連する質問をしたりしている／しようとしている。
B	おおむね正しい表現と発音で、質問に答えたり質問したりすることができる。	十分ではないが、自分の答えに情報を加えたり、相手の答えに相づちを打ったり関連する質問をしたりしている／しようとしている。

図4 1年 Unit 5 評価テスト「評価の基準」

まとめ

指導と評価の一体化

評価というと、評定につながる評価(総括的評価)に意識が向いてしまうことも多いでしょう。しかし、指導に生かすための記録に残さない評価(形成的評価)も、とても大切です。指導と評価の一体化とは、**形成的評価を通して指導と評価、学習と評価をつなぐ**ことです。教師は、生徒ができなかったことをなおざりにして評価をするのではなく、指導をどう改善すれば生徒ができるようになるのか、その指導方法を常に考えながら、生徒の学習改善につなげるようにしましょう。

また、ABC評価をする前に、工夫しながら粘り強く課題に取り組む態度を育てていく環境や授業作りに、もっと意識を傾けてみてください。言語習得のこつは、生徒の現状にほんの少し負荷を与える“**i + 1**”。粘り強く取り組ませるためには、教師が手立てを考えてあげることが必要です。生徒の様子を観察しながら手立てを考えて次の授業に生かし、取り残される生徒がいないよう、教師も試行錯誤しながら指導することも、同じように大切なのです。

評価は焦らず、長い目で

生徒は、1時間の授業内では変わりません。単元末や学年末につけさせたい力をCAN-DOと

して設定したうえで、具体的なパフォーマンス例をイメージすることが大切です。その際には、教師自身も実際にやってみて、無理がないかを確認してみてください。そうして設定したCAN-DOに向かって評価の逆向き設定を行い、指導と評価を一体化させていく計画を立ててみましょう。

年間授業時数140時間という**長期的かつスパイラルな学び**の中で、生徒の言語発達の様子を大きな視点で把握しつつ、単元末・学期末・学年末などで重点的に見取るようにします。見取り方も、正確さのみを重視した、目ざすべきモデルからの減点法ではなく、日々の指導を通して垣間見ることができる、個々の生徒の小さな伸びや、CAN-DO(何ができるようになるか)の部分的な積み上げをプラスする**加点法**を意識して、教師も粘り強く、しかし気軽に長期的計画を立てながら評価することを心がけてください。



おお た ひろし
太田 洋

東京家政大学教授。
光村図書 小・中学校英語教科書
『Here We Go!』編集委員。
著書に『英語の授業が変わる50のポイント』(光村図書)など。



なが ぬま なお き
長沼 君生

東海大学教授。
東京外国語大学専任講師を経て、現職。
光村図書 小・中学校英語教科書
『Here We Go!』編集委員。